

キャラクター名  
カイロス

プレイヤー名

シンドローム	バロール ブラム=ストーカー		ワークス	ゼノスメンバー?	カヴァー	ゼノスメンバー?
	オプション		年齢	不明(外見20代程)	性別	男性型
覚醒	忘却	衝動	恐怖	初期侵食率	34	%
出自	旧き記憶	経験	記憶喪失	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	1	1	0	2		4	行動値	9
感覚	3		0			3	(非装備時)	9
精神	3		0			3	戦闘移動	14
社会	1		0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	8		射撃			R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:ゼノス	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
両手剣	白兵	4r+5	3	10		他の武器は装備できない

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
進化の書	
ウェポンケース	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:古代種	P	N		
ラピス=ラズリ	P 懐旧	N 不信任		
タイガーアイ	P 連帯感	N 隔意		
都築京香	P 尽力	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定D+LV個、初期侵食値+5								
オリジン:ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間達成値+LV								
コソトレイト:バロール	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-LV								
巨人の斧	3	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 攻撃力+[LVx3]、判定D-2個								
魔王の理	5	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果: 攻撃力+[LVx2]								
鮮血の一撃	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 判定D+[LV+1]個、HP2点消費								
暗黒の槍	2	3	メジャー	-	-	対決	-	
効果: 装甲無視、HP5点消費、シナリオLV回								
血の宴	2	3	メジャー	-	範囲(選択)	対決	-	
効果: 対象を範囲(選択)に変更、シナリオLV回								
ブラッドバーン	3	4	メジャー	-	-	対決	80%	
効果: 攻撃力+[LVx4]、HP5点消費								
フラットシフト	1	0	メジャー	-	-	-	Dロイス	
効果: 侵食値の合計を0にする、シナリオ1回								
冥府の棺	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: バッドステータスを受けた直後に1つ回復								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 判定を失敗にさせる、シナリオ1回								
吸着	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: ぜったいにおちない								

「任務……そう、任務……私は任務を下された……。誰に……? イヤ、忘れていない……都築京香……プランナー……私の主……アア、覚えてる……」

忘れえぬ思い出もあつた。忘れ難き闘いもあつた。忘れたくない人もいた。  
みんな忘れてしまった。みんな、みんな。  
永い時を生き過ぎたから忘れてしまったのか。忘れてしまったから気が狂ったのか。気が狂ったから生き過ぎてしまったのか。  
今では何も分からない。  
最初に覚えていたのは自分の名前だけ。名前だけは絶対に忘れなくなつた。自分が見知らぬ人間であるのは、とても怖いことだから。  
私の手元には大きな剣と一冊の本があつた。それを大事に大事に——守り続けたのは確かだ。今でもそれはここにある。  
そうして何も分からないまま歩き続けると、一人の女性が現れた。彼女は私に優しく——なんと語りかけてくれただろうか? 忘れてしまった……。  
いつしか私は彼女の率いる組織にてプラン進行の補佐を任されていた。それがつい最近だと分かるのは、彼女が与えてくれたこの二つ名を忘れていないから。  
今日も私は闘う。プランの為に、消えてしまった私の記憶達の為に。  
しかし、私は一体何と闘っていたのだろうか?

